



Microsoft 365 のライセンス

Microsoft 365 のライセンス

目次

概要	2
この簡易ガイドの更新内容.....	2
詳細	2
お客様のシナリオ	5
よく寄せられる質問	8

概要

Microsoft 365 は、Office 365、Windows 10 Enterprise、Enterprise Mobility + Security が含まれるユーザー単位のライセンス オプションです。Microsoft 365 には、E3 と E5 の 2 つのオプションがあります。マイクロソフトでは、クラウド ファーストかつオンプレミス対応のライセンス権を含む、ユーザー単位の単一の SKU による柔軟なライセンスを提供し、サブスクリプションをご利用のお客様によるオンプレミス環境からの移行を支援するものです。Microsoft 365 E3 および E5 は、一般企業と公共機関のお客様を対象に、Enterprise Agreement (EA)、Enterprise Agreement Subscription (EAS)、loud Solution Provider (CSP) プログラム、マイクロソフト製品/サービス契約 (MPSA) を通じて提供されます。

この簡易ガイドの更新内容

この簡易ガイドは、Microsoft 365 のライセンス取得方法について概要をまとめたものです。

詳細

今日のクラウド テクノロジとモバイル テクノロジにより、企業はビジネスを変革し、あらゆる人々に影響するデジタル改革の恩恵を受けています。最新のイノベーションを活用することで、自社の製品やサービスの改良、まったく新しい方法での顧客とのやり取り、業務の刷新による効率化が可能になります。そして重要な点として、企業は従業員の成果を高めるための高度なテクノロジーを入手することができました。

以下のライセンス オプションに含まれる製品やサービスを組み合わせることで、非常に高い生産性、共同作業、モビリティ、ビジネス インサイト、そして安全なエクスペリエンスを従業員に提供することが可能となります。

Microsoft 365 E3	Microsoft 365 E5
Office 365 E3 Windows 10 Enterprise E3 Enterprise Mobility + Security E3	Office 365 E5 Windows 10 Enterprise E5 Enterprise Mobility + Security E5

Microsoft 365 のライセンス

Office 365

- ▶ **Office 365 E3** は、大部分のデバイスに対応する最新の Office のフル機能に加え、統合された幅広い共同作業支援サービス、高度なコンプライアンス機能、完全な IT 管理機能を提供します。Office 365 には、最大 5 台の PC または Mac、5 台のタブレット、5 台のスマートフォンにインストールできる Office 365 ProPlus が含まれています。また、Exchange Online、SharePoint Online、Skype for Business Online、Yammer が含まれるほか、同等のオンプレミスサーバー ワークロードに対するアクセス権も提供されます。Office 365 E3 の詳細については、[こちらのページ](#)をご覧ください。
- ▶ **Office 365 E5** は、新しいスイート製品であり、リアルタイム コミュニケーション、分析、高度なセキュリティの 3 つの投資分野において大きな効果を発揮する新機能が含まれています。投資分野ごとに以下の機能が提供されます。
 - **音声** – アドオン サービスとして利用できるクラウド PBX、PSTN 会議、Skype 会議ブロードキャスト、PSTN 通話（地域やチャネルごとの提供状況に基づく）
 - **分析** – Power BI による分析、MyAnalytics による個人/チームの分析
 - **セキュリティ** – Office 365 Advanced Security Management、Advanced Threat Protection による安全な添付ファイルと安全なリンク、Advance Compliance によるコンプライアンスとアクセス制御

Office 365 E5 の詳細については、[こちらのページ](#)をご覧ください。

Windows 10 Enterprise

- ▶ **Windows 10 Enterprise E3** は Windows 10 Pro を基盤として構築され、中規模以上の企業のニーズに対応するための高度な機能が追加されています。たとえば、最新のセキュリティ脅威に対する高度な保護機能、オペレーティング システムの展開と更新における幅広いオプション、デバイスおよびアプリの包括的な管理機能などが挙げられます。Windows 10 Enterprise を実行するデバイスでは、最新のセキュリティ更新プログラムや機能更新プログラムを継続的に利用できます。また、最新テクノロジーを導入するペースを制御することも可能です。Windows 10 Enterprise の詳細については、[こちらのページ](#)をご覧ください。
- ▶ **Windows 10 Enterprise E5** は、E3 に含まれるすべての機能に加え、企業ネットワークに対する高度な攻撃の検出、調査、対処の支援を目的とした企業ユーザー保護のための新たなセキュリティ サービス、Windows Defender Advanced Threat Protection (Windows Defender ATP) の利用も希望するお客様向けの最新のライセンス オプションです。

このサービスは Windows 10 で使用されているセキュリティ防御機能をベースとしており、脅威が侵入した後の Windows 10 のセキュリティ スタックの新たな保護層として機能します。Windows 10 に組み込まれているクライアント テクノロジーと堅牢なクラウド サービスを組み合わせることで、他の防御機能を通じた脅威を検出し、エンドポイント全体を調査するための情報や推奨される対処法を企業に提示することができます。Windows 10 Enterprise の詳細については、[こちらのページ](#)をご覧ください。

Enterprise Mobility + Security (EMS)

Enterprise Mobility + Security (EMS) は、マイクロソフトのエンタープライズ モビリティ ソリューションによる統合された安全な生産性エクスペリエンスを提供します。ユーザーは生産性を維持するために必要な Microsoft Office 365 などのアプリとデータに簡単かつ完全にアクセスし、場所やデバイスを問わずに作業することが可能です。これらすべてと共に、企業データの保護ツールも提供されるため、IT 部門は安心して業務を行うことができます。こうしたツールは、モバイルを使用する従業員のユーザー ID、デバイス、アプリケーション、データの統合管理を実現する機能も備えています。Enterprise Mobility + Security の詳細については、[こちらのページ](#)をご覧ください。

Microsoft 365 では、各コンポーネントを個別に購入するのではなく、各種クラウド サービスをスイート割引で購入できるため、低価格になります。Microsoft 365 をご利用いただくことで、Enterprise Agreement をご利用のお客は真のユーザー単位のライセンス モデルでライセンスを購入し、デバイスやオペレーティング システムにかかわらず一貫した生産性を確保できます。また、Platform Enterprise Agreement やクラウド サービスのデバイス数を把握する必要がなくなるため、管理がシンプルかつ容易になります。クラウドには Enterprise Agreement を変更することなく移行できるほか、Bridge CAL や補正発注も不要になります。

Microsoft 365 のライセンス

オンプレミス サーバーの権利

Microsoft 365 E3 および E5 のすべてのユーザー サブスクリプション ライセンス (USL) には、以下の権利が含まれています。

- ▶ Exchange Server、SharePoint Server、Skype for Business Server
- ▶ オンプレミス サーバーにサーバー ソフトウェアをインストールする権利 (ダウングレード権を含む)
- ▶ ライセンス取得済みのすべてのオンプレミス サーバーにアクセスする権利

ソフトウェア アシュアランス (SA) をご契約中のお客様は、“From SA” USL を使用して Microsoft 365 に移行した場合に、以下の権利をご利用いただけます。

Office Professional Plus

- ▶ Microsoft 365 サブスクリプションの期間中に 1 台のデバイスにインストールして利用できる
- ▶ 完全なユーザー サブスクリプション ライセンス (Full USL) のユーザーは、ご購入いただいた “From SA” USL と同数 (1:1 の比率) まで Office Professional Plus のコピーをインストールできる
- ▶ 例: 500 件の From SA USL と 500 件の Full USL をご購入いただいた場合、すべてのユーザーが Office Professional Plus のコピーをインストールできる
- ▶ ダウングレード権を含む

なお、Microsoft 365 E3 および E5 のすべての USL には Windows Server にアクセスできるライセンスが含まれていますが、Windows Server 製品自体のライセンスは含まれていません。

Microsoft 365 の入手方法

Microsoft 365 E3/E5 は、エンタープライズ加入契約またはエンタープライズ サブスクリプション加入契約を通じて、Full USL、アドオン ライセンスまたは、“From SA” USL ご利用いただけます。ライセンス オプションは以下のとおりです。

ライセンス	対象となるお客様	注文可能時期
Microsoft 365 の Full USL	<ul style="list-style-type: none">▶ ユーザー単位のクラウド サービスとして Enterprise Platform のライセンス契約を希望される Enterprise Agreement/Enterprise Agreement Subscription の新規のお客様▶ Enterprise Agreement/Enterprise Agreement Subscription を締結している以下のお客様:<ul style="list-style-type: none">▶ 現在、Office Professional Plus、CAL スイート、Windows 10 Enterprise (Enterprise Platform) のライセンス契約を締結しておらず、ユーザー単位のクラウド サービスとしてライセンス契約をご希望されるお客様、または▶ ユーザー単位のクラウド サービスとして Enterprise Platform の新規ユーザーのライセンス契約をご希望されるお客様	契約期間中、 契約応当日、 更新時
注: これらのお客様は、代わりに、Office Professional Plus、CAL スイート、Windows Enterprise Upgrade のライセンスおよびソフトウェア アシュアランス (L + SA) を購入して、Microsoft 365 アドオンを追加することもできます。		
Microsoft 365 アドオン	<p>Enterprise Agreement/Enterprise Agreement Subscription を締結している以下のお客様:</p> <ul style="list-style-type: none">▶ 現在、Office Professional Plus、CAL スイート、Windows 10 Enterprise (Enterprise Platform) のライセンスおよびソフトウェア アシュアランス (L + SA) をお支払中のお客様、かつ▶ 更新前に、ユーザー単位のクラウド サービスとして Enterprise Platform の一部またはすべての既存ユーザーのライセンス契約をご希望されるお客様、または	契約期間中、 契約応当日、 更新時

Microsoft 365 のライセンス

- ▶ Enterprise Platform の既存ユーザーおよび新規ユーザーのオンプレミスの使用权を維持することをご希望されるお客様

Microsoft 365 “From SA” USL	Enterprise Agreement/Enterprise Agreement Subscription を締結している以下のお客様:	更新時 (推奨) または 契約応当日
	▶ Office Professional Plus、CAL スイート、Windows Enterprise Upgrade (Enterprise Platform) のライセンスのお支払いがすべて完了しているお客様、かつ	
	▶ 現在、ソフトウェア アシュアランスのみお支払中のお客様、かつ	
	▶ ユーザー単位のクラウド サービスとして Enterprise Platform の既存ユーザーのライセンス契約をご希望されるお客様	

お客様のシナリオ

以下に、さまざまなお客様のシナリオにおける Microsoft 365 のライセンス契約方法を詳しく説明します。

シナリオ 1: 既存の投資を考慮に入れてオンプレミスの Enterprise Platform からユーザー単位のクラウド サービスに移行する

状況

Litware 社には、8,000 台の対象デバイスと 8,200 名の対象ユーザーが存在しています。同社は、Enterprise Desktop (Windows Enterprise Upgrade、Office Professional Plus、Enterprise CAL スイート) を対象とする Enterprise Agreement を締結しています。Enterprise CAL スイートではデバイス単位でライセンスを取得しています。これらのライセンスはすべて支払いが完了しており、ソフトウェア アシュアランスのみ支払中です。

ビジネス目標

モバイルを使用する従業員とユーザー所有デバイスの増加により、Litware 社は転換期を迎えており、IT のコンシューマライゼーションを導入する時期であると認識しています。同社は、デバイス数を把握する必要から解放され、4,000 名のユーザーをユーザー中心のライセンス ソリューションに移行することを希望していますが、ゼロからライセンス契約をやり直し、これまでのデバイス ライセンスへの投資が無駄になってしまうことを懸念しています。

ソリューション

Microsoft 365 は、ユーザー中心のライセンス ソリューションを提供し、4,000 名のユーザーを移行するという Litware 社のニーズを満たすものです。これらのユーザーを移行する場合、“From SA” USL またはアドオンという 2 つのソリューションから選択できます。

“From SA” USL では、既に所有しているライセンスが考慮されます。更新時に、4,000 名分の Enterprise Desktop ソフトウェア アシュアランスのみの支払いと、4,000 名分の Microsoft 365 の “From SA” USL に移行できます。Litware 社は、Microsoft 365 の “From SA” USL を購入できます。これは、同社が Enterprise Desktop Platform から Microsoft 365 USL に 1:1 の比率で移行したためです。

または、8,000 名分の Enterprise Desktop ソフトウェア アシュアランスのみの支払いを続けて (したがって、同社のオンプレミス ライセンスも維持し)、4,000 名分の Microsoft 365 アドオンを追加することもできます。

シナリオ 2: 完全または部分的にクラウドに移行する場合に、一部のオンプレミス ソリューションを維持する

状況

Margie’s Travel 社は、Professional Desktop (Windows Enterprise Upgrade、Office Professional Plus、Core CAL スイート) の 1,400 名の対象ユーザーに対する Platform Enterprise Agreement を更新したいと考えています。

ビジネス目標

Margie’s Travel 社はクラウドへの完全移行を計画していますが、現時点では、一部のワークロードをオンプレミスに維持する必要があります。

Microsoft 365 のライセンス

ソリューション

Microsoft 365 は、すべてのユーザーにライセンスが付与される完全なクラウド ソリューションを求めるお客様に最適なソリューションですが、現時点で重要なワークロードをオンプレミスに維持する必要があるお客様にも対応しています。Microsoft 365 E3 および E5 のすべてのライセンスには、オンプレミス サーバーにサーバー ソフトウェア (Exchange Server、SharePoint Server、Skype for Business Server) を無制限にインストールできる権利が含まれています。また、Office Professional Plus のソフトウェア アシュアランスをご契約中で、“From SA” ライセンスを通じて Microsoft 365 に移行するお客様は、Office Professional Plus を 1 台のデバイスにインストールして、Microsoft 365 サブスクリプションの期間中に利用できます。

Margie’s Travel 社は更新時期を迎えており、既に Professional Desktop (Windows Enterprise Upgrade、Office Professional Plus、Core CAL スイート) にソフトウェア アシュアランスをご利用中であるため、“From SA” ライセンスを利用することが推奨されます。Professional Desktop (Windows Enterprise Upgrade、Office Professional Plus、Core CAL スイート) のすべての対象ユーザーに対する Platform Enterprise Agreement を更新するには、Microsoft 365 E3 および E5 を組み合わせて購入できます。たとえば、ユーザーのうち 1,000 名については Microsoft 365 E3 のライセンス、残りの 400 名のユーザーについては Microsoft 365 E5 のライセンスを取得することが可能です。

シナリオ 3: IT 部門による一元管理を維持しながら従業員に対する完全な“個人所有デバイスの業務利用”のサポートを実現する

状況

Trey Research 社は、Professional Desktop (Windows Enterprise Upgrade、Office Professional Plus、Core CAL スイート) の 1,000 台の対象デバイスと 1,000 名の対象ユーザーに対する Platform Enterprise Agreement を締結しています。Core CAL スイートではユーザー単位でライセンスを取得しています。同社は、Office 365 Enterprise E3 アドオンによって 200 名のユーザーのライセンスを取得することで、ユーザー ベースのクラウド サービスを試験的に導入しました。

ビジネス目標

Trey Research 社では、今後 2 年以内にすべての従業員による完全に自由な“個人所有デバイスの業務利用”(BYOD) を実現したいと考えています。また、自社のセキュリティと容易な管理の要件を満たすために、包括的なアクセス制御機能とデータ保護機能が必要としています。

ソリューション

Office 365 E3 および Windows 10 Enterprise E3 は、ユーザーによる自由な BYOD を実現し、Enterprise Mobility + Security E3 は、すべてのデバイス、アプリケーション、ユーザー ID の管理に必要なツールを IT 部門に提供すると共に、同社のデータを保護します。同社はオンプレミス ライセンスを維持しながら、Office 365 E3 での経験に基づき、1,000 名すべてのユーザーを対象とした Microsoft 365 へと試験的導入を拡大する予定です。

同社はこれを実現するために、次の契約応当日に 200 名分の Office 365 E3 アドオンの利用を中止し、1,000 名分の Microsoft 365 アドオンを追加します。翌年の契約更新時には、Professional Desktop のソフトウェア アシュアランスの支払いを継続し、1,000 名分の Microsoft 365 アドオンを購入するか、Professional Desktop のソフトウェア アシュアランスの支払いを中止し、1,000 名分の Microsoft 365 の“From SA” USL を購入してクラウドへ完全に移行することができます。Microsoft 365 アドオンまたは USL をすべての従業員に割り当てた後、Trey Research 社は追加のライセンスを購入することなく、従業員に追加の対象デバイスの持ち込みを許可できます。

シナリオ 4: ソフトウェア アシュアランスなしの Select Plus からクラウドに移行する

状況

Fourth Coffee 社は、Microsoft Select Plus 契約を締結しており、ソフトウェア アシュアランスなしで追加の Productivity Server License と CAL を購入しました。同社のサーバー インフラストラクチャは老朽化しており、更新と管理には膨大な時間と費用がかかります。同社では、社内の各部署で 2,500 名のユーザーが約 3,000 台の PC を使用しており、それらはすべて Windows 8.1 Pro または 10 と共に購入されたものです。ここ数年、従業員の間では個人所有デバイスの業務利用の許可を求める声が高まっています。

Microsoft 365 のライセンス

ビジネス目標

Fourth Coffee 社は、自社のサーバー インフラストラクチャをすべて更新、管理する費用と IT 部門の負担を回避したいと考え、クラウドへ移行することを決定しました。また、個人所有デバイスの業務利用を従業員に許可したいとも考えています。ただし、デバイス数を把握して各デバイスのライセンスを管理することなく、そうしたデバイスに対応できるライセンス ソリューションを必要としています。

ソリューション

Fourth Coffee 社は、2,500 名のユーザー全員分の Microsoft 365 USL が提供される Enterprise Agreement を新たに締結することで、ビジネス目標をすべて達成することができます。老朽化したサーバー インフラストラクチャをクラウド サービスに置き換え、ユーザー数のみを把握すればよいライセンス ソリューションを採用することで、すべての従業員の個人所有デバイスを実現します。Fourth Coffee 社は、新規のユーザーを追加する場合でも、追加の CAL を購入することなく、自社のペースでクラウドに移行できます。Microsoft 365 は、オンプレミス サーバーに対しても CAL と同じアクセス権を提供します。

シナリオ 5: Office Professional Plus および Core CAL スイートからユーザー単位のクラウド サービスに移行する

状況

Contoso Pharmaceuticals 社は、Office Professional Plus とユーザー単位でライセンスを取得した Core CAL スイート を Enterprise Agreement で締結しています。同社には、1,500 台の対象デバイスと 1,000 名の対象ユーザーが存在しています。

ビジネス目標

Contoso Pharmaceuticals 社は、すべてのユーザーを Microsoft 365 に移行し、ユーザーが個人所有デバイスから Windows Enterprise にアクセスできる機能など従来と同様のメリットと柔軟性を利用できるようにしたいと考えており、これをできる限り速やかに実現したいと考えています。

ソリューション

Contoso Pharmaceuticals 社が自社の目標を達成するための方法は以下のとおりです。

1. 任意の時点 (契約期間中または契約応当日) で、1,000 名分の Office 365 E5 アドオン、1,000 名分の EMS アドオン、1,000 名分の Windows 10 Enterprise E5 の Full USL を注文します (現在の Enterprise Agreement に Windows Enterprise ソフトウェア アシュアランスが含まれていないため、同社は Windows 10 Enterprise E5 アドオンの対象になりません)。
2. 更新時に、1,000 名分の Microsoft 365 E5 USL を注文し、Office Professional Plus、Core CAL スイート、Office 365 E5 アドオン、EMS アドオン、Windows 10 Enterprise E5 USL の利用を中止します。

シナリオ 6: さまざまなユーザーの固有のニーズに対応する

状況

Tailspin Toys 社は、1,750 台の対象デバイスと 1,000 名の対象ユーザーに対する Enterprise Desktop Platform を Enterprise Agreement で締結しています。Enterprise CAL スイートではユーザー単位でライセンスを取得しています。ユーザーのうち 750 名は営業チームに所属しており、それぞれ 2 台のデバイスを使用しています。250 名のユーザーは本社勤務で、それぞれ 1 台のデバイスを使用しています。同社では、今後 1 年間のうちに以下の変更を予定しています。

- ▶ 営業チームの 50 名に iPad を支給し、iPad から VDI Windows クライアント デスクトップにアクセスできるようにする。
- ▶ 営業チームに 50 名の人員を追加する。新しい従業員は、Windows Pro (7 以降) のライセンスが付与された個人所有のデバイスを使用する。
- ▶ 本社チームに 25 名のフルタイム従業員を追加し、それぞれに新しい Windows 10 Pro デバイスを支給する。
- ▶ 本社チームに 10 名のパートタイム従業員を追加する。新しい従業員は個人所有のデバイスを使用して VDI デスクトップにアクセスする。

Microsoft 365 のライセンス

ビジネス目標

Tailspin Toys 社は、自社ユーザーのさまざまなニーズを満たすライセンス ソリューションを求めています。特に、場所とデバイスを問わず生産性を維持できる柔軟性を営業チームに提供する必要があります。新たな 10 名のパートタイム従業員については、IT 部門の一元管理によって、他のユーザーと同じように生産性ツールや共同作業支援ツールにアクセスできるようにしたいと考えています。

ソリューション

目標達成への第一歩は、営業チームのために Microsoft 365 機能を追加することです。そこで、同社は Microsoft 365 アドオンを 750 件購入します。このようにユーザー単位のライセンスに移行することで、50 台の iPad を支給するときに追加のライセンスは不要になります。新しい従業員を営業チームに追加するときは、Microsoft 365 USL でそれらのユーザーにライセンスを付与します。

契約応当日には、新しいフルタイム従業員と Windows Pro (7 以降) デバイスを含めるように対象デバイス数と対象ユーザー数を補正発注します。現時点では、これらのユーザーに対して、Microsoft 365 による追加の柔軟性を提供する必要はないと判断しました。今後その考えが変わった場合には、これらのユーザーの Microsoft 365 アドオンを購入できます。

新しい 10 名のパートタイム従業員は、Windows Pro (7 以降) のライセンスが付与されたプライマリ ワーク デバイスを所有していないため、Windows 10 Enterprise E3 の対象にならず、したがって Microsoft 365 USL の対象にもなりません。ただし、各ユーザーの Windows Virtual Desktop Access (VDA) per User、Office 365 E3、Enterprise Mobility + Security のライセンスを取得することで同様の特典を受けることができます。Windows Virtual Desktop Access (VDA) per User により、Windows 7 以降のライセンスを取得しているユーザーには、任意のデバイスからリモート Windows Client VDI デスクトップにアクセスする権利とデバイスに Windows Enterprise をインストールする権利が提供されます。

よく寄せられる質問

Microsoft 365 には Bridge CAL が必要ですか。

完全な Microsoft 365 をご購入いただく場合、Bridge CAL は不要です。契約応当日に Office 365 E3 の “From SA” のみまたは Enterprise Mobility + Security の “From SA” のみに移行する場合は、残りの CAL スイート コンポーネントの契約を維持するために対応する Bridge CAL をご購入いただく必要があります。

Windows 10 Enterprise E3 と Windows Enterprise Upgrade + ソフトウェア アシュアランスの違いは何ですか。

Windows Enterprise Upgrade + ソフトウェア アシュアランスはデバイス単位のライセンスであり、各デバイスには Windows Pro または別の基盤となる対象オペレーティング システムが必要です。関連付けられたユーザーの権利 (ローカル インストール、VDI の権利、Windows To Go) はライセンスを取得したデバイスにのみ適用されます。

Windows 10 Enterprise E3 は、プライマリ ワーク デバイスに Windows Pro (7 以降) または Enterprise のライセンスが付与されているプライマリ ユーザーが利用できます。関連付けられたユーザーの権利 (ローカル インストール、VDI の権利、Windows To Go) はライセンスを取得したユーザーのすべてのデバイスに適用されます。

Windows Pro (7 以降) または Enterprise が実行されているプライマリ デバイスをユーザーが持っていない場合はどうなりますか。

Windows Pro (7 以降) または Enterprise が実行されているプライマリ デバイスを持っているプライマリ ユーザーがいない場合は、Windows VDA per User USL を利用できます。Windows VDA per User では、プライマリ デバイスで対象オペレーティング システムを実行している必要はなく、ユーザーがデバイスのプライマリ ユーザーである必要もありません。Windows VDA per User では、任意のデバイスでの VDI または Windows To Go アクセス、Windows Pro (7 以降) または Enterprise のライセンスを既に取得しているライセンス ユーザーが使用する任意のデバイスでのローカル インストール権が提供されます。また、Windows VDA per Device のライセンスを取得したプライマリ デバイスのプライマリ ユーザーに Windows 10 Enterprise E3 アドオンを割り当て、そのユーザーに Windows VDA per User のすべての権利を提供することもできます。

Microsoft 365 のライセンス

Microsoft 365 で提供されるオンプレミス対応の権利にはどのようなものがありますか。

Microsoft 365 のユーザーには、生産性サーバーと Office Professional Plus に対するオンプレミスの以下の権利が提供されます。

- ▶ サーバーおよびクライアント ソフトウェアをインストールしてサブスクリプションの期間中に利用する権利 (ただし、ライセンス資格ではない)
- ▶ ソフトウェアの最新バージョンまたは以前のバージョンを使用する権利
- ▶ オンプレミスの権利はライセンスではなく、ソフトウェア アシュアランスの特典は含まれない

生産性サーバーの権利には、以下が含まれます。

- ▶ サーバー製品の無制限のインストール
- ▶ Microsoft 365 ユーザー限定のアクセス権
- ▶ お客様専用のハードウェア サーバー環境のみが対象
- ▶ マルチテナント クラウドに展開する権利は含まれない

Office Professional Plus のコピーには、以下が含まれます。

- ▶ ご購入いただいた Microsoft 365 の “From SA” USL ごとに、1 台のデバイスにローカル インストールが可能
- ▶ Microsoft 365 の “From SA” のユーザーまたは既存の SA を所有しているユーザーに対する権利
- ▶ Microsoft 365 の新規ユーザーの限定的な権利 – “From SA” ユーザーの数が上限 (1:1 の比率)
- ▶ RDS を使用してサーバーにクライアントを展開する権利は含まれない

Microsoft 365 は政府機関や GCC (政府機関コミュニティ クラウド – 米国のみ) のお客様にも提供されますか。

はい。Microsoft 365 E5 のリリース時には世界各地の政府機関のお客様にも提供が開始される予定です。ただし、米国の政府機関コミュニティ クラウド バージョンの Microsoft 365 E3 および E5 は、後日リリースされる予定です。

Microsoft 365 は教育機関や非営利団体のお客様にも提供されますか。

Microsoft 365 は教育機関のお客様にも提供される予定です。具体的なリリース日は後日発表いたします。現時点では、非営利団体のお客様向けに Microsoft 365 をリリースする予定はありません。

Microsoft 365 に関する詳細はどこで確認できますか。

Microsoft 365 の詳細については、[こちらのページ](#) をご覧ください。

Microsoft 365 はどのチャネルを通じて提供されますか。

Microsoft 365 E3/E5 は、Enterprise Agreement、Enterprise Agreement Subscription、マイクロソフト製品/サービス契約 (MPSA) を通じて一般企業および公共機関のお客様を対象に提供されます。また、Cloud Solution Provider (CSP) プログラムでもクラウドのみの展開のお客様を対象に提供されます。